

2007 年度第 1 回京大本番レベル模試 地理 B 採点基準

単答記述問題

誤字、脱字、漢字間違いは 0 点。

論述問題

- (1) 「設問別加点基準」に基づき加点する。また、その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし、満点を超える得点は与えない。
- (2) 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

共通減点基準

加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。

下線の付け忘れは 1 点減点。

もしできれば答案に「下線のつけ忘れです。次回から気をつけましょう」等と記入して、生徒に指導していただけると幸いです。

指定用語不使用は 1 点減点。

字数オーバーは 1 点減点。

*** 減点なくいい要素、その他の注意**

地理用語に関して、漢字の新字体 / 旧字体や、スロヴェニア スロベニア、パキスタン パーキスターンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

加点要素以外で誤った記述があった場合、その部分は 0 点だが、減点はしない。

加点項目は内容的に整合性が取れていればよく、字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

文章が未完のものも減点しない。

設問別加点基準



【配点】計25点

【解答例】

問(1) 各1点×5

a - 100 b - 雲南(ユンナンも可) c - ラオス
d - 南シナ e - メコンデルタ(デルタ、三角州も可)

問(2) 1点

(イ)

問(3) 2点

南沙群島(南沙諸島、スプラトリー群島、スプラトリー諸島も可)

問(4) 各1点×2

ヒンドゥー教・仏教(順不同可)

問(5) 4点

ドイモイ政策や国際社会復帰で、安い生産費を求める海外からの投資が急増したから。(39字)

〔加点要素〕(合計は4点を超えない)

2点「ドイモイ政策」または「刷新政策」または「市場メカニズム(市場経済)導入」または「対外開放政策」など

1点「国際社会復帰」または「アメリカとの国交正常化」または「アセアン(ASEAN)加盟」など

1点「海外からの投資増加」または「外国企業の進出増加」など

1点(の理由として)「安い生産費」または「低賃金労働力」など

問(6) 3点

雨季と乾季が明瞭なサバナ気候下で水位変化を利用した浮稲栽培。(30字)

〔加点要素〕(合計は3点を超えない)

1点「雨季と乾季が明瞭」または「降水量の季節変動が大」または「降水が一時期に集中」など

「サバナ(Aw)気候」の語はあってよいが、それだけでは加点しない。

2点「浮稲(浮き稲)」または「水位上昇(増水・浸水)に伴い茎が伸びる稲」など

1点「直播」「倒伏した稲穂を刈る」「舟を使った収穫」など浮稲栽培の詳細に関する記述

問(7) 4点

独立を保ち、内戦を経験せず国情が安定し、早期より外国から多くの投資を受けたため。(40字)

〔加点要素〕(合計は4点を超えない)

2点「(緩衝国として)独立を維持」または「植民地にならなかった」または「欧米(他国)の支配を受けず」など

1点「国情(政情)が(比較的)安定している」または「内戦を経ていない」または「国際紛争に無縁」または「(王政の下で)政治的混乱が少ない」など

1点「外国(欧米・日本)からの投資」または「外国(先進国)企業の進出」など

問(8) 各2点×2

自由貿易協定(FTAも可) シンガポール



【配点】計25点

【解答例】

問(1))2点)2点

)ドルトムント)ピッツバーグ

問(2) 各1点×4 (地方名各1点、資源名各1点)

A国 - ザール地方・石炭

C国 - ロレーヌ地方・鉄鉱石(アルザス地方・鉄鉱石(石炭)も可)

問(3) 各1点×3

P - オーストラリア、Q - ブラジル、R - カナダ

問(4) 1点 4点

ナルヴィク (ナルビクも可)

大西洋に面し、暖流の北大西洋海流と偏西風の影響で冬季にも結氷しない不凍港だから。(40字)

〔加点要素〕(合計は4点を超えない)

1点「大西洋に面する」または「(スカンディナビア半島の)西岸に位置する」など

1点「暖流」または「北大西洋海流」など

1点「偏西風」

2点「不凍港」または「冬季にも凍結しない港」など

問(5) 2点

ヴァノーニプラン(パノーニ計画・パノーニプラン・ヴァノーニ計画も可)

問(6) 4点

生産方式に合わせた定時輸送のため、組立工場に近接したハイウェイ沿いに立地する。(39字)

〔加点要素〕(合計は4点を超えない)

1点「(トヨタ式の・ある特定の)生産方式」または「カンバン(看板)方式」または「ジャストインタイム(JIT)方式」または「在庫を持たない生産」など

1点「定時輸送が必要」または「(の生産方式に)合わせた輸送が必要」など

1点「組立工場(自動車工場・親工場)の近く」または「中継拠点の近く」など

2点「ハイウェイ(フリーウェイ・高速道路・幹線道路)沿い」「インターチェンジ沿い」など

問(7) 3点

温和で晴天が多い前者の地中海沿岸、後者の南部・太平洋沿岸。(29字)

〔加点要素〕(合計は3点を超えない)

1点「温和(温暖)」または「好天(晴天・日照時間)が多い」など

1点「(ヨーロッパの)地中海沿岸」または「南欧」または「南仏(周辺)」または「ヨーロッパのサンベルト(スペインのマドリードからフランスのマルセイユ付近)」など

1点「(アメリカの)南部」または「太平洋岸(西岸)」または「サンベルト」または「北緯37度以南」など



【配点】計25点

【解答例】

問(1) 1点×5

b - 門前町 c - 条里集落 d - 町役場(郡役所・役場・役所も可) f - 単線 h - 500

問(2) 2点

流路変更により境界紛争が起きやすい。

〔加点要素〕(合計は2点を超えない)

1点「流路変更」または「河川の流れる位置が変動するため」などの理由の説明

1点「境界の位置をめぐる紛争」または「市町村界に関する争い」などの問題点の説明

問(3) 作成法1点(完解) 理由1点

地形図作成法(新):ユニバーサル横メルカトル図法(UTM可) 地形図作成法(旧):多面体図法

(新)(旧)いずれか1つのみ正解の場合は加点しない

理由:経度差6度以内なら隙間なく接合可能なため。

作成法:[加点要素](合計は1点を超えない)

1点「(新図法は)経度差6度以内なら隙間なく接合可能なため」または「(旧図法は)多くの地図を貼り合わせると平面にならないため」など

問(4) 3点

自然堤防上に位置しているため、洪水被害に遭いにくいから。(26字)

[加点要素](合計は3点を超えない)

2点「自然堤防(に位置すること)」

1点「洪水被害に遭いにくい」または「高燥である」など、自然堤防に集落が立地する理由の説明

問(5) 4点

後背湿地は田に、水はけの良い丘陵地は果樹園に利用されているが、河川沿いにあった桑畑は、河川改修や需要減少により消滅した。(60字)

[加点要素](合計は4点を超えない)

A 新旧地形図における後背湿地・丘陵地の農地の土地利用の説明(2点を超えない)

1点「(旧図では/新図では)後背湿地は水田に利用されている」

1点「(旧図では/新図では)丘陵地は果樹園に利用されている」

本問は農地の土地利用の特色を問う問題なので、「丘陵地は針葉樹林が分布」等は不可

B 桑畑の消滅に関する説明(2点を超えない)

1点「(旧図では)河川沿いに桑畑がみられる」または「(新図では)河川沿いの桑畑が消滅した」のいずれか、両方書かれていても1点

桑畑の位置に関する説明がなければ加点しない「河川の近く」「図中央東部」などの表現でも可

1点「(桑畑消滅の理由として)「河川改修」または「(産業構造の変化による)桑(生糸)の需要減少」など

問(6) 4点

解答例A:水陸交通の結節点で原材料の輸送の便がよく、工業用水や農村を背景とした豊富な労働力に恵まれていたから。(50字)

解答例B:豊富な用水を背景に製紙工場が立地したほか、農村を背景とした労働力に恵まれ、紡績工場が立地した。(47字)

〔加点要素〕(4点を超えない)

解答例A 工場立地の一般的な条件に関する説明の場合(4点を超えない)

2点「水陸交通の結節点」または「水上(河川)交通と鉄道交通がともに発達」

「河川交通が発達」だけの場合は1点、「鉄道交通が発達」だけの場合は1点

1点 を踏まえて「原材料の輸送の便が良い」など

1点「(工業)用水に恵まれる」または「用水が豊富」など

1点「(農村を背景とした)労働力に恵まれる」または「豊富な労働力を背景に」など

解答例B 製紙工場・板紙工場・鐘紡工場それぞれの立地条件に関する説明の場合(4点を超えない)

1点「(工業)用水に恵まれる」など、用水に恵まれていたことの説明

1点 の結果として、「(用水指向型工業である)製紙工場/板紙工場が立地」

1点「(農村を背景とした)労働力に恵まれる」など、労働力に恵まれていたことの説明

1点 の結果として「(労働力指向型工業である)繊維工場/紡績工場が立地」

問(7) 5点

かつては民営鉄道の終着ターミナルとして高い中心地機能を有していたが、役場の消滅や水田を中心に宅地開発が進んだことなどから、近年は郊外の住宅衛星都市としての機能を強めたことがわかる。(90字)

〔加点要素〕(5点を超えない)

1点「かつては(民営)鉄道の終着ターミナルであった」

単なる「鉄道駅」では加点しない。西大寺は、旧図の時代はターミナル駅であったが、新図の時代には通過駅になったことがポイント

1点「かつては高い中心地機能を有していた」または「かつては地域の中心都市であった」など 地域の中心としての役割が高かったことの説明

1点「近年は(郊外の)住宅衛星都市としての機能を強めた」または「近年は郊外地域としての特色を強めた」

1点 の理由として「役場の消滅」

1点 の理由として「住宅地の増加」

1点 の理由として「西大寺駅が、かつてのターミナル駅から、通過駅に変化した」

(25点)

【配点】

【解答例】

問(1) 各1点×4

A - 韓国 B - オランダ C - ドイツ D - ロシア

問(2) 1点

自然増加率

「自然増加(数)」「増加率」では加点しない

問(3) 1点

(ウ)

問(4) 各1点×2

10倍:オーストラリア

10分の1:中国

問(5) 2点

カトリックを信仰する人々が多いため。(18字)

〔加点要素〕(2点を超えない)

2点「カトリックを信仰する人々が多いため」または「中絶・避妊を認めないカトリック教徒が多いため」

「キリスト教徒」では加点しない

本問は「文化的背景」を問う問題なので、「子供が労働力として必要なため」「乳児死亡率が高いため」「社会保障が発達していないので老後の面倒を子供に期待するため」などは加点しない。

問(6) 3点

保育施設や父母とも取得できる育児休業制度の充実と、休業時の所得補償があるため。(39字)

〔加点要素〕(3点を超えない)

1点「保育施設が充実」または「保育所が充実」など

1点「(父母とも取得できる)育児休業制度/育児休暇の充実」など

1点 その他、「育児休業中の所得の補償」など、スウェーデンの育児制度に関する詳細の記述

問(7) 4点

どちらも富士山型であるが、エチオピアは年少者のすそ野が広いのに対し、メキシコは狭くなっている。(47字)

〔加点要素〕(2点を超えない)

A 類似点(2点を超えない)

2点「(エチオピア・メキシコは)どちらも富士山型/ピラミッド型」であることの説明

B 相違点(2点を超えない)

1点 エチオピアは依然として出生率が高く、裾野が広い典型的な富士山型であることの説明

1点 メキシコは近年の経済発展によって出生率が下がっているため、裾野がやや狭くなっていることや釣鐘型への移行を示す形状となっていることの説明

問(8) 3点

高齢化が進んだ西ヨーロッパ諸国に比べ、中国は人口に占める高齢者割合が低いから。(39字)

〔加点要素〕(3点を超えない)

1点 「西ヨーロッパ諸国は高齢化が進んでいる」または「西ヨーロッパ諸国は高齢化社会/高齢社会となっている」または「西ヨーロッパ諸国は老人の割合が高い/老人数が多い」など

2点 「(西ヨーロッパと比較して)中国は人口に占める高齢者割合が低い」ことの説明

「中国では近年経済が発展しているため、医療が向上し死亡率が低下した」などの解答は、西ヨーロッパとの比較になっていないので加点しない

問(9) 5点

フランス、植民地支配を受けた影響でフランス語も使用されており、地中海の対岸で地理的に近く経済や交通の結びつきが強いため。(60字)

〔加点要素〕(5点を超えない)

2点 「植民地支配の影響でフランス語が話されていること」または「旧宗主国がフランスであるため、フランス語が話されていること」など

アルジェリアではフランス語は公用語ではないので、「植民地支配の影響でフランス語が公用語となっている」の場合は1点のみ加点

2点 「地中海の対岸で地理的に近く」または「両国は地中海を挟んで隣り合う」など

「地中海」の語を利用した位置関係を示す説明がなく、「距離的に近い」ことだけを説明してある場合は1点のみ加点

1点 「経済や交通の結びつきが強い」または「経済上のつながりが強い」または「両国間の貿易も盛んである」または「両国を結ぶ交通が発達している」など、アルジェリアとフランスが現在でも強い関係があることの説明